

木造住宅用軽量既調合モルタル

富士川の

# ラスモル



— 建築仕上げの流れを創る —



富士川建材工業株式会社

# 富士川の**ラスモル**は砂モルタルの弱点を克服し

## 特 長

- クラック防止** ●小さい収縮率、特殊繊維の配合、及び弾力性の為、砂モルタルと比べクラックの発生が大巾に減少します。
- 好作業性** ●特殊混和剤の配合、理想的な骨材粒度分布の為、作業性は抜群です。
- 軽 量** ●砂モルタルと比べ、約 $\frac{1}{2}$ の重量で下地への負荷が少なく、運搬、塗り作業が容易です。
- 工期短縮** ●1日で16mm塗り可能の為、工期の短縮になります。
- 断 熱** ●熱伝導率が砂モルタルの $\frac{1}{2}$ と極めて小さい為、結露防止にも効果があります。
- 安定した品質** ●管理された工場生産された既調合品である為、品質が安定し、現場での配合管理の必要がありません。
- 防 火** ●防耐火性能に優れており、ラス工法では15mm厚で防火構造、準耐火45分（耐力）、準耐火1時間（耐力）、ノンラス工法では16mm厚で防火構造、準耐火45分（耐力）、17mm厚で準耐火1時間（耐力）となります。

## 用 途

### 一般木造建築物の外壁モルタル

#### 適用下地

ラス工法下地：枠組壁工法・軸組工法・木質系組立構造・鉄骨構造

ノンラス工法下地：ノダラスカットパネル・バルのラストップ等

※施工の場合はお問い合わせ下さい。

その他の下地：コンクリート・モルタル・ALC・ブロック

## 荷 姿

25kg防湿紙袋入り

## 塗面積

10mm厚	約3.2㎡
16mm厚	約2.0㎡
20mm厚	約1.6㎡



## 注意事項

- セメント・砂等をラスモルに追加混合しないで下さい。
- 気温5℃以下での施工は避けて下さい。
- 激しい通風及び日射による急速乾燥は避けて下さい。必要によりシート養生、散水養生を行なって下さい。
- 保管はセメント同様です。
- 防火構造、準耐火構造、及び土塗り壁同等として施工される場合は最寄りの営業所にご連絡下さい。

# た新しい木造住宅用軽量既調合モルタルです。

富士川の**ラスモル**はポルトランドセメントに特殊軽量骨材、特殊繊維、混和剤を理想的に配合し、すぐれた性能を発揮します。

## 施工法

### A ラス下地

#### ① 下地

- 防水紙はアスファルトフェルト430以上、メタルラスはJIS A 5505に適合する防錆処理品で500g/㎡以上、但し、準耐火1時間の場合は700g/㎡以上を使用して下さい。工法は住宅金融公庫工事共通仕様書に準じて下さい。

#### ② 混練り



モルタルミキサー、手練りによりよく混練りして下さい。タイル貼り仕上げとする場合はこれに富士川シーレックスを1kg混入して下さい。使用するタイルの材質は原則として磁器質、大きさは小口平までタイル厚は10mm程度までとします。

#### ③ 塗り付け

ラスによくからまるように下ごすりし、しまり具合を見て所定厚みまで塗付け、ころあいを見てムラ直しを行ない、平坦に仕上げして下さい。

#### ④ 仕上材施工

養生期間は10日(冬期14日)以上として下さい。

### B コンクリート・モルタル・ALC・ブロック下地

- ラスモル塗付前に富士川シーレックス稀釈液(ALCの場合4倍液、その他3倍液)により吸水調整材(シーラー)塗布を行ない、水引き乾燥後ラスモルを施工して下さい。

- ※その他はラス下地と同様です。
- ※ALCの場合、最大塗厚を10mm程度として下さい。
- ※シーリングボードの場合やノンラス工法下地(ノダラスカットパネル・バルのラストップ等)の場合は、お問い合わせ下さい。



### 品質確保促進法に対応 ラスモルノンクラック工法

- 防水シートから仕上げまで一貫した工法として、富士川が自信を持っておすすめする工法です。クラックでおこまりの方、アフターの経費負担におこまりの方、富士川にご連絡ください。

# ラスモル 性能試験結果

試験方法 JASS15 M-102 (既調合セメントモルタルの品質基準)

商 品 名		富士川のラスモル
正 味 質 量		25Kg (1袋)
使用 方法	標準加水量	9~10ℓ/袋
	標準練上り量	32ℓ/袋
	標準塗り厚	16mm
	標準塗上げ面積	2.0㎡/袋

試 験 項 目		試 験 結 果	JASS15M - 102 品質規準
練上り率	%	-4.3	±5以下
軟度変化	%	2.9	20以下
凝結時間	始 発 (時 - 分)	4-35	2-00以下
	終 結 (時 - 分)	7-40	12-00以内
曲 げ	曲 げ 強 度 N/mm <sup>2</sup> (kgf/cm <sup>2</sup> )	2.6 (25)	2以上 (19.6以上)
吸 水	吸 水 量 g	8	40以下
透 水	透 水 量 ml/h	0.1	1以下
長さ変化 (収縮)	%	0.102	0.15以下

(財) ベターリビング筑波建築試験センターにて実施

富士交通大印認定	富士交通大印認定	富士交通大印認定	富士交通大印認定	富士交通大印認定
認定番号: 区分 PF000BE-9100 耐火	認定番号: 区分 PF000BE-9101 耐火	認定番号: 区分 GF045CN-9000 45分 GF000CN-9002 1時間	認定番号: 区分 GF045CN-9001 45分 GF000CN-9002 1時間	認定番号: 区分 GF045BE-9200 45分
準耐火構造 外壁	準耐火構造 外壁	準耐火構造 柱	準耐火構造 柱	準耐火構造 外壁
軽量セメントモルタル塗り /木造・木造下地外壁	軽量セメントモルタル塗り /木造・木造下地外壁	軽量セメントモルタル塗り /木造・鉄骨造柱	軽量セメントモルタル塗り /木造・鉄骨造柱	軽量セメントモルタル塗り /木造・鉄骨造外壁
NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター
富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社

  

富士交通大印認定	富士交通大印認定	富士交通大印認定	富士交通大印認定	富士交通大印認定
認定番号: 区分 GF045BE-9210 45分	認定番号: 区分 GF000BE-9212 1時間	認定番号: 区分 GF000BE-9213 1時間	認定番号: 区分 GF045PS-9100 45分 GF000PS-9100 1時間	認定番号: 区分 GF045PS-9100 45分 GF000PS-9100 1時間
準耐火構造 外壁	準耐火構造 外壁	準耐火構造 外壁	準耐火構造 軒裏	準耐火構造 軒裏
軽量セメントモルタル塗り /木造・木造下地外壁	軽量セメントモルタル塗り /木造・木造下地外壁	軽量セメントモルタル塗り /木造・木造下地外壁	軽量セメントモルタル塗り /木造・鉄骨造軒裏	軽量セメントモルタル塗り /木造・鉄骨造軒裏
NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター	NPO法人財団住工研センター
富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社	富士川建材工業株式会社

## ◎注意事項

### 安全上の注意

- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 皮膚に付着した場合は清浄な水で十分に洗い流して下さい。
- 目に入った場合は、ただちに清浄な水で最低15分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けて下さい。
- 粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 取り扱い後は手洗い及びうがいを十分行って下さい。
- 飛散した材料は、掃除機等で吸い取って回収して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。

### 保管上の注意

- 製品の保管は湿気の少ない場所にパレットなどを敷き、床面より離して下さい。
- 開封した材料は早めに取り切して下さい。
- 製造年月日より、3ヶ月以内に使用して下さい。
- 防火構造及び準耐火構造で施工される場合は、弊社最寄りの営業所にご連絡下さい。

### 輸送上の注意

- 紙袋の破れ、落下がないように荷崩れ防止等に配慮して下さい。
- 降雨等の水ぬれに配慮して下さい。

### 廃棄上の注意

- 産業廃棄物として、適切な処理をして下さい。

詳細な内容が必要な場合にはお問い合わせ下さい。

— 建築仕上げの流れを創る —



## 富士川建材工業株式会社

URL <http://www.fujikawakenzai.co.jp/> e-mail [mail@fujikawakenzai.co.jp](mailto:mail@fujikawakenzai.co.jp)

本社・本社工場 横浜市金沢区鳥浜町13 〒236-0002 TEL (045)772-1811  
大阪工場 大阪府茨木市島1-18-5 〒567-0854 TEL (072)630-6557

仙台出張所 TEL (022) 232-5312 大阪営業所 TEL (072) 630-6511  
関東営業所 TEL (049) 288-4550 広島出張所 TEL (082) 272-2000  
東京営業所 TEL (03) 5686-5650 福岡出張所 TEL (092) 831-5636  
横浜営業所 TEL (045) 769-2326 工事管理部 TEL (045) 775-0771  
名古屋出張所 TEL (052) 711-1221